

平成 19 年度 広島大学大学院理学研究科入学試験問題

化 学 専 攻	英 語
---------	-----

平成 18 年 8 月 23 日 9 : 00 ~ 11 : 00

注 意 事 項

1 . 以下の用紙が配布されている。

問題用紙 (表紙を含む。) 5 枚

解答用紙 4 枚

下書用紙 1 枚

2 . 問題は全部で 4 問ある。 4 問全てに解答せよ。

3 . 解答は問題ごとに指定された用紙を用い , それぞれの解答用紙に
受験番号を記入せよ。 解答は用紙の枠内に記入せよ。

4 . 解答用紙及び下書用紙の全てに受験番号を記入せよ。

5 . 試験終了時には , 全ての解答用紙及び下書用紙を提出すること。

平成 19 年度 広島大学大学院理学研究科入学試験問題

化 学 専 攻	英 語
---------	-----

次の〔 〕～〔 〕の 4 問に解答せよ。解答には問題ごとに指定された用紙を使用せよ。
解答は用紙の枠内に記入せよ。

〔 〕次の英文を和訳せよ。

著作権保護の問題があるため掲載せず。

平成 19 年度 広島大学大学院理学研究科入学試験問題

化 学 専 攻	英 語
---------	-----

[] 次の下線部の英文を日本文に訳し，A に適当な数式を入れよ。

著作権保護の問題があるため、掲載せず。

平成 19 年度 広島大学大学院理学研究科入学試験問題

化 学 専 攻	英 語
---------	-----

[] 次の英文を読み，問い(i) ~ (iii) に答えよ。

著作権保護の問題があるため、掲載せず。

(i) ~ にそれぞれ適当な冠詞を入れよ。

(ii) ~ 内のそれぞれの動詞を適当な活用形にせよ。

(iii) ~ 内にそれぞれ適当な前置詞を入れよ。

平成 19 年度 広島大学大学院理学研究科入学試験問題

化 学 専 攻	英 語
---------	-----

[] 次の日本語を英文になおせ。

光学活性分子の絶対配置の決定は大変重要である。しばしば用いられている絶対配置を決める手法は、X線回折である。しかし、この手法は単結晶の試料を必要とする。結晶化が困難な多くの有機化合物に対しては、代わりの手法として、振動円二色性が有効である。この手法は、左と右に円偏光した赤外光に対する光学活性分子による吸収の差に基づくものである。

円二色性：circular dichroism；円偏光した赤外光：circularly polarized infrared radiation